

二十歳の門出

平成27年成人式

誓いのことば

新成人代表 萩原 竜司さん



1月11日、町民会館を会場に「成人式」が開催されました。華やかな振り袖や羽織・袴・真新しいスーツに身を包んだ新成人217人が参加し、かつてのクラスメイトと久しぶりに再会し、二十歳の門出をとともに喜びあっていました。式典では、新成人を代表して萩原竜司さんが「誓いの言葉」を述べ、若者たちは、新たな決意を胸に大人への一歩を踏み出しました。

本日の成人の日にあたり、このような盛大な式典を催していただき、新成人を代表して、心よりお礼を申し上げます。また、佐藤町長をはじめ、来賓のみなさんから温かいお祝いや激励の言葉をいただき、新成人としての喜びを噛みしめると同時に、今後の責任の重大さを痛感しております。

さて、昨年から今年にかけて日本の社会は大きな変化を迎えております。長く続いたデフレからの脱却が見え始め、2020年、オリンピック、パラリンピックの東京開催に向け、明るい道筋を見出しつつあります。この転換期に我々新成人は、地域のこと、国のこと、世界のことに受け身ではない積極的な参加を求められております。今日の成

人の日をそのひとつの区切りとし、「世の中を変えていくのは自分たちである」という気概を持って、社会に貢献していきたいと思えます。

成人を迎え、権利と自由はより大きなものとなり、義務や責任はより重くなります。ですが、責任があるということは同時に、自分がどう生きるかの選択、決断の自由があるということだと思えます。私はこれを、自分次第でどんな未来をも切り拓いていけるチャンスと捉えています。私たちがこれから歩む道は、決して平坦な道ではないはずですが、多くの出会いと一つ一つの努力の積み重ねがいつか大きな実を結ぶと信じています。私たちは、この自然豊か

で人情味溢れる横芝光町に生まれ育ち、多くの方々に支えられてきました。ともに競い歩んできた友人、導いてくださいました先生方地域のみなさん、なによりも温かく見守ってくれた両親や家族の愛情に言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。人と人との絆に思いを馳せ、これからも一期一会の出会いを大切にしていきたいと思えます。

最後に新成人を代表して、この横芝光町から確固たる信念を持ち、未来に向けて歩んでいくことを今日ここに誓います。

